

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(平成31年)3月25日号 No.1788

目次

■ ナザルバエフ・カザフスタン大統領辞任 1	
一 政治的影響力は保持へー	
■ 『ロシアNIS調査月報』2019年4月号のご紹介 10	
■ キーパーソン 11	
カピケノフ・カザフ産業・インフラ発展省次官が解任／11	
■ トピックス 11	
ロシアでフェイクニュース禁止法が成立／11	

ナザルバエフ・カザフスタン大統領辞任 一 政治的影響力は保持へー

はじめに

2019年3月19日、ナザルバエフ・カザフスタン大統領が国民向け演説で辞任を発表した。突然の発表は国内外を驚かせた。1989年に当時ソ連の構成共和国であったカザフスタンの共産党中央委員会第一書記に就任して以来、約30年間、同国の指導者として君臨してきたナザルバエフは、2016年9月に隣国ウズベキスタンのカリモフ前大統領が逝去して以来、旧ソ連の中で最長の就任期間を誇っていた。同国の憲法規定に従い、2020年に予定されている次の大統領選挙までトカエフ上院議長が大統領に就任した。

ただし、カザフスタンの法律によってナザルバエフには「国家の指導者(Leader of Nation)エルバスイ」という称号が与えられており、初代大統領として特別な地位が認められている。そのため、現職大統領のポストを退いたものの、政権与党である「ヌル・オタン」の党首や国家安全保障会議の議長のポストを維持することになり、カザフスタンの政治の舞台から完全に引退するわけではない。

本稿では、ナザルバエフの辞任に関する事実関係をまとめると同時に、今後の体制や政策への影響およびトカエフ大統領のパーソナリティなどに関する専門家の見解を現地の報道から紹介する。

